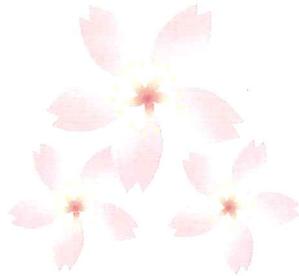


安心はぬくもりある看護から

野村訪問看護STだより 2019年

平成31年4月1日



今年は早い桜の開花でした。野村病院の2本の桜の木も可愛いいい花を咲かせてくれました。

寒い日があったり夏の様な暑い日があったりと毎日着る洋服に頭を悩ませますが、気温の変化に気をつけながら体調管理をしていきましょう。

野村訪問看護ステーション・三鷹市連雀地域包括支援センターでは、今年度も地域の皆様の療養生活のパートナーとして機能していきたいと思っております。

訪問看護・リハビリ・ケアマネジメント、そして、医療のこと・介護のこと・生活のこと等の情報発信・相談・地域への発信を行っていきます。

「のむらに行けば何かいい情報がある。相談できる」そして、「行ってみて良かった」と思えるような場所にしていきたいと思っております。

スタッフ紹介

★所長：家崎芳恵

★事務：粕谷康恵

★訪問看護

看護師⇒石橋佳代子・坂口良子・三島可愛・高橋のり子・小泉香織

熊谷靖代・小澤恵美子・浅田夏樹・遠藤ゆかり・大日方友紀

理学療法士⇒栗原弥生・平野健太郎・嘉月悠

★ケアマネジャー

保谷知美・吉野郁子・高野美樹・目黒紀江子

★地域包括支援センター

本多恵利・高畠裕美・利岡佳子・吉彩香・中井弘子・萩原香澄

山本和子

ゴールデンウイークの対応について

野村訪問看護ステーション・連雀地域包括支援センターでは

4月27日（土）から5月6日（月）までの対応を以下の通りといたします。

- 4月28日（日）、5月1日（水）、5月5日（日）は、休日といたします。
- 5月6日（月・祝）は通常営業いたします。
- その他は通常営業といたしますが、職員は交代でお休みを取らせていただきますので、訪問の曜日・時間を変更させていただくことがあります。

皆様のご協力をお願いいたします。

三鷹市

在宅医療と介護の連携 5つの取り組み



これまで、病気の治療は「医療」。年を取って暮らしにくくなったら「介護」。このように「医療」と「介護」は別々に考えられてきました。しかし、病気を持ちながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには在宅医療と介護が一体的に提供されることが必要になります。

今回は、三鷹市の在宅医療と介護の連携推進のための取り組みをご紹介いたします。

パンフレット「わが家・三鷹で暮らし続けるために」

在宅での療養について漫画で紹介。在宅療養を支える専門職の紹介やQ&Aも掲載しています。三鷹市役所、地域包括支援センターに用意してあります。



「三鷹版わたしの覚え書きノート」

最期を過ごしたい場所や告知・終末期医療の希望を記載することができます。ご自身の覚書として、また、万が一ご自分のことをきちんと伝えられなくなった時、ご自身の気持ちが尊重され、安心した生活を送るための準備としてご利用ください。三鷹市役所、地域包括支援センターに用意してあります。



「認知症にやさしいまち三鷹」 イベント

年1~2回 認知症に関する知識の啓発イベントを行っています。日程は未定ですが、市報やチラシ等でお知らせいたします。

「在宅療養者の後方支援病床利用事業」

在宅療養者に一時的な入院が必要となった場合に、入院先の確保が円滑に行われるよう、三鷹市医師会、市内病院及び市との間で結んだ協定に基づき、在宅療養者及びその家族を支援します。入院対象者や入院期間、医療機関、利用方法、費用などの規定がありますので、訪問診療医またはケアマネジャーにご相談ください。

在宅医療・介護連携支援窓口「連携窓口みたか」

医療・介護関係者の相互理解を進め、連携を支援します。窓口は三鷹市高齢者支援課に設置しています。対象は医療・介護・福祉関係者になっています。ご本人やご家族の方は、地域包括支援センターやケアマネジャーにご相談ください。



医療法人財団 慈生会

野村訪問看護ステーション

三鷹市連雀地域包括支援センター

所長・編集長：家崎 芳恵

TEL 0422-47-5401